

## 令和5年度 第2回 宇美町地域公共交通活性化協議会議事概要

### 1 報告事項

#### ・地域公共交通計画策定に関する報告

(事務局) 今回の協議会の目的は、のるーとの宇美町での有効性を調査した結果を報告するもの。今回の調査結果と昨年度調査した宇美町の公共交通の特性やアンケート等を盛り込み、宇美町の地域公共交通計画の策定を予定している。

#### ① 「のるーと宇美」の有効性について

(KCS) 資料の詳細説明

(会長) 調査結果においてご質問ご意見等があれば。

(鶴川) LINEでのアンケートをまとめたものか。

(KCS) 利用者の方からのご意見等はLINEを通じたアンケート結果である。

(大井) 利用が多かった移動方向で「深町」が挙げられているが、深町エリアには何かあるのか。

(事務局) 「深町」には粕屋南郵便局や久恒病院、糟屋南部消防署がある。

(会長) 加えて市内に出る方は深町で乗り継がれたりもあるだろう。

(大井) 西鉄バスがある中で乗り継ぎまでして利用するのだろうか。

(会長) アンケートものるーとを利用している方のアンケートであり、まだ利用していない人もいて、ここにあるものがすべての意見ではない。今後ものるーとの特性を伝えていく中で理解を求めて、利用促進を図っていきたい。合わせて、免許返納した方にはクーポン付与するサービスを行っている。これまでに100名弱の方に付与した。今後も周知を図っていきたい。

(辻(運輸局)) 詳細な数字を見てのるーとはとても有効なものであるとわかった。公共交通は運転手不足が喫緊の課題であると考えている。公共交通計画作成時には住民の需要ばかりがメインに出てくるが、持続可能な公共交通を考えた時に、供給側の意見も大事になってくる。バス及びタクシーの運転手不足について事業者へのヒアリングも受けて、町として何ができるか検討いただければと思う。

(会長) 事業者さんともしっかり打ち合わせしながら進めていきたい。他に何かあれば。

(辻) 若い世代やスマートフォンを使いこなしている人はQRコードを読み込むことを手軽に行っている。せっかくバス停が町内に張り巡らせてあるのであれば、そこにQRコードがあると、のるーとを知らない人でもピッと読み込むだけで乗り方を知ることができたり、予約ができたりするのではないだろうか。

(会 長) ご意見ありがとうございます。先ほど乗り継ぎのところで「深町」の話をしたが、今後は広域化も考えなくてはならない。隣の志免町でも同じようなオンデマンドバスが来年3月から運行をスタートする。例えば「深町」で志免町から来るバスに乗り継いでシーメイトのほうへ行ってみるができるなど利用の方法が広がってくると思う。太宰府市ではまほろば号というコミュニティバスも走っており、近隣市町と連携を図ることで利用の幅も広がっていくので、しっかりと共有したい。

## ② 今後のスケジュールについて

(事務局) 第3回の活性化協議会を11月から12月に予定している。内容としては交通計画の素案をお示しして、委員の皆様から意見をいただく場にしたい。そしてその素案は、昨年度に調査した交通事業者アンケートや移動に関するアンケートと今回調査したのる一との有効性を加味しつつ、各交通事業者様と打ち合わせしながらお互いの要望を盛り込んで、持続可能な交通計画にできればと考えている。委員の皆様からの意見をもとに素案を修正して、来年1月から2月にかけてパブリックコメントの実施し、今年度末には公共交通計画の完成としたい。交通計画の策定まで半年となっているが、短い期間の間に複数回協議会を開催する予定であり、ご多忙の時期であるがご協力いただきたい。

## 2 意見聴取

(全 体) 特に意見なし

## 3 その他

(事務局) シティプロモーション課はJR宇美駅前のにぎわいづくりも担当しており、その観点から二つ紹介したい。一つ目は、10月15日(日)にJRウォーキングの開催を予定している。この日行われる宇美八幡宮の放生会に合わせて町内各所を巡っていただく。よかったら、お知り合いに紹介していただければ。

二つ目は駅前でキッチンカーの実証実験を行う。10月1日から駅前にキッチンカーを出して販売していただく実証実験であり、募集をかけたところ現在一件応募があった。こちらも紹介していただければ。

(会 長) 昨年開催したJR九州ウォーキングは1200~1300人の人出があって、近郊では一番の人出でありJR香椎駅の駅長が表彰を受けたとお聞きしている。また、キッチンカーについては4ヶ月の社会実験になるが、駅に降り立てば何かしらやっていることになり、駅前のにぎわいづくりに今後も努めていきたいと思う。お時間がある時にはぜひ立ち寄ってほしい。